

# ① 広報のまち

『毎月十日は防火の日』火元にはなりたくないね  
おかあさん

## 賀 正



1月号 No.75

### 躍進続ける登別町

東洋一を誇る温泉地を有する登別町は、いまや大きな飛躍と発展を遂げております。

登別町のすぐれた自然、恵まれた地理的環境は、新産業都市の一環として、住宅、厚生、文教、観光開発にともなう施設などを中心に、豊かで住みよい生活圏にふさわしく、将来の

大都市建設への大きな希望が開かれております。

ことしこそはと、何か一つの大きな目標をたて、豊かで、住みよい町づくりを、町民の一致した協力によって、力づくで推し進めていきたいと思います。

# 大都市建設に

## 躍進

町民のみなさま、あけましておめでとうございます。  
みなさまと共に輝かしい昭和四十一年の新春をお祝いできますことを心からうれしく存じます。

政をおあすかりして以来、町民

産業都市の指定を受けて将来の大都市建設への二年目といたしまして、又、昭和三十九年着工いたしました、し尿処理場の完成、学校の増改築、観光施設の充実、街路の整備等、順調な町勢発展の跡をみることができましたことは、これもまた喜びにたえないところであります。しかし、その反面姉妹台風といわれ

# 新春を迎えて



町長 岩倉 誠一

が楽しく働くことのできる住みよい登別町の建設にとめてまいりましたが、

道路、衛生、住宅、福祉など町民のしあわせを願う生活環境づくりも軌道に乗り、着々と懸案事業を

推し進めてまいることができましたことは、ひとえにみなさまの深いご理解と、ご協力のたまもの心から感謝申し上げます。

りまして、波瀾に富んだ、年でもありました。  
このように悲喜こももも明け暮れてまいりました年も、除夜の鐘の音と共に過ぎ去り、清々しい昭和四十一年の日の出をみると、  
新たる希望と感慨を覚えずにはいられません。  
今年も丙午でありまして、古くからの言伝では、天災地変の多い年となっておりますが、現代に於いては、必ずしも当を得たものでないかと存じます。又、凶変して

吉となる"の譬もありまして、物事には、表があると裏があるものがあります。

わたくしは今年も近年にない良い年になると信じて、町発展のために、又、大都市建設に最大の努力を尽したいと存じますので、町民のみなさま方におかれまして、今まで同様のご協力をお願い申し上げます。

明るい豊かな町づくりに向って新たな決意のもとに新年を祝いたいものであります。  
郷土の発展とみなさまのご多幸を切に祈ってやみません。

### 活発な

#### 社会福祉活動

町社会福祉協議会は、去る十月二十八日全国社会福祉会議(東京都日比谷公会堂)において、全国社会福祉協議会長より優良社協として表彰を受けました。

この表彰は、今回社会福祉に關して活発な活動を行い、その実績があつたことにより受賞されたものです。

これは、町民のみなさんの日頃福祉事業に深いご理解とご協力による賜であると心より感謝すると共に、ここに紙上をもってご報告申し上げます。この栄ある受賞を町民のみなさまと共に喜び申し上げます。

明けましておめでとうございます

町民の皆様は謹しんで新年のごあいさつ申し上げます。

#### 登別町役場

町長 岩倉 誠一  
助 役 高田 忠雄  
収入役 八十嶋 武雄  
総務部長 山下 文雄  
民生部長 小野 寺 勇  
開発部長 田村 仙一郎  
外 職 員 一 同

#### 登別町議会

議長 南 邦 夫  
副議長 宮 武 清 一  
消防長 堅 田 久 次 郎

#### 登別町消防本部

委員 長 上 田 邦 男  
委員 長 三 好 秀 一

#### 登別町教育委員会

委員 長 柳 沼 高 杉  
委員 長 森 口 護  
委員 長 三 浦 守 治  
委員 長 東 条 康 之  
委員 長 三 浦 守 治

#### 登別町交通安全運動推進委員会

委員 長 三 浦 守 治

#### 登別町固定資産評価審査委員会

委員 長 三 好 秀 一

#### 登別町監査委員

代表 監 査 員 岩 原 秀 夫  
委 員 長 岩 原 秀 夫

#### 登別町公平委員会

委員 長 国 分 恒 次

#### 町社会福祉協議会では、十一月二十三日(勤労感謝の日)体育館において第三回目の働く青少年の表彰を行いました。

これは働くという勤労意欲の向上に、働くことに誇りを持たせるために、町内の新聞、牛乳などの優良配達青少年を対象に表彰状や記念品を贈りその労をねぎらったものです。今回表彰されたのは次の方々です。

- 知里 忠一
- 佐藤 義夫
- 板木 政夫
- 山田富士夫
- 川田 幸雄
- 中村 忠光
- 温泉中学校
- 小杉 正市
- 西尾 務
- 木村 孝
- 相沢 雄一
- 石黒 忠一
- 中沢 信司
- 須田 敏男
- 菊地 昭
- 工藤 広二
- 越後 光吉

### 優良勤労青少年を表彰

町社会福祉協議会では、十一月二十三日(勤労感謝の日)体育館において第三回目の働く青少年の表彰を行いました。

これは働くという勤労意欲の向上に、働くことに誇りを持たせるために、町内の新聞、牛乳などの優良配達青少年を対象に表彰状や記念品を贈りその労をねぎらったものです。今回表彰されたのは次の方々です。

- 知里 忠一
- 佐藤 義夫
- 板木 政夫
- 山田富士夫
- 川田 幸雄
- 中村 忠光
- 温泉中学校
- 小杉 正市
- 西尾 務
- 木村 孝
- 相沢 雄一
- 石黒 忠一
- 中沢 信司
- 須田 敏男
- 菊地 昭
- 工藤 広二
- 越後 光吉

# 議会だより

## 一般会計八百九十万円を追加

十二月十六日開催された第四回定例議会では、報告一件、議案六件、協議案二件、陳情一件がそれぞれ審議され、町議会議員の定数条例を廃止する条例の設定（現在二十六名を次の一般選挙から三十名に）については総務委員会に附託したほかいづれも承認、可決、採択されました。

その主なものは次のとおりです

### ◎社会委員会結果報告

八月六日開催された第五回臨時議会に附託となった学校給食センター設置について、再三にわたって調査、審議した結果、明年度において施設を鉄骨造で幌別中学校屋内体育館横に新築すべきであるとの報告がなされ、議会でさらに慎重な審議をし、これを承認しました。

### ◎一般会計補正予算

八百九十万円の追加が認められ、一般会計の予算総額は六億三十二万円となりました。

### ◎追加された予算の主なもの

- 防犯灯設備助成金
- 来馬火葬場電灯新設工事費
- 無電灯農家電気導入事業補助金
- 漁港、岡志別路線、札内路線、滝の上橋の各々所災害復旧工事費などです。

### ◎特別会計補正予算

国保会計の予算総額四千七百二十六万円、水道会計の予算総額一億五千八百九十四万円、観光会計予算総額一億四千二百七十八万円となりました。

## 家庭愛が

### こどもを守る

・冬休み中の非行の傾向  
時間的には、規則正しい学校生活から、一時的に解放される冬休みは、えてして家庭における生活の乱れから道をふみはずす子どもがふえています。

冬休み中におきた子どもの非行は、年々ふえて年令の低い非行が多く、また、非行が凶悪化、集団

化しているのが特徴です。  
・家庭生活がだいじ  
子どもが悪い道へふみ込む原因には、いろいろ複雑な問題がからんでいます。が、家庭での子どもに対する無関心、が大きな原因となつていきますので、家庭での指導と心がまえは、次のようなことがらを中心にしませう。

- つとめて、子どもと楽しく話し合う時間をつくる。
- 親が、まず円満に、家庭のふんい気を明るくするようつとめる。
- 小づかひの正しい使い方を教える。
- 遊び友だちに常に関心をもつ。
- 計画性のある規則正しい生活をさせる。

## 機材の一部変更

役場事務合理化委員会では、事務内容の合理化について町長に具申し、町ではこれを基に種々検討を加えた結果、次のように機構の一部を改革し、これに伴う人事異動が行われました。

衛生課保健係が国保年金係に、都市計画課調査係が廃止されて計画係（係長、洞口三郎）と事業係の二係となり、建設工事課は建設課とし、同課に管理係（係長、工藤英二）を新たに設けました。次に産業課の商工係を観光課に移管し、農林係（係長、稲葉一郎）と水産係（係長、伊藤課長兼務）の二係とし、観光課は公営係を廃止して観光係と商工係（係長、河田央）の二係に改めました。

ので、急病人が出ると病人を板戸に乗せ、数人で担いで幌別へ走ったものです。

司会 幌別には当時お医者さんは居たのですね。

堅田 居りました。名前はちよつと忘れましたが。

日野（鼻） ごく古くは中村文太郎という人です。それから前田さん、鈴木さん等です。

堅田 私も二度ほど病人を担いで行きました。後になって、これでは恰好が悪いというので滝本さんがカゴを買ってくれて、それからカゴを使う様になりました。そんな様子でしたが、別に亡くなった人も出ませんでした。

吉田 通信機関のお話をしたいのですが。

司会 ぜひお願いします。

吉田 先程も申上げた様に明治四十二年二月に、初めて温泉郵便局が設置されましたが、それができる前は現在の登別町全体を幌別局が配達していました。幌別郵便局は明治五年五月の開局で、初代局長は松谷金弥という方です。その次は日野愛喜さんです。

司会 例の片倉家北海道移住願末を書かれた方ですね。

吉田 そうです。それから明治十九年に日野久福さんがなられて、その後が日野謙さんです。温泉郵便局は開局当時は為替と郵便だけ、配達はしていません。

司会 無集配局ですね。

吉田 初代局長は木村官之丞さんです。

司会 その方は登別小学校の校長先生をしていた方ではないですか。

吉田 そうです。その次が広瀬さんで、私は三代目です。（つづく）

## 町史編さんシリーズ

# 古老回顧座談会 その六

## 登別温泉会場

### 『カゴで運ばれた急病人』

司会 ハイカラ馬車の料金はいくら位でしたか。

秋吉 三十五銭でした。

堅田 その当時は三十五銭はなかなか高い料金でしたよ。

秋吉 貸切で一円四十銭でした。四人乗司会 それはいつ頃ですか。

秋吉 明治の末から大正にかけての頃です。鉄道管理局とか七師団から偉い人が来泉する時は、一頭曳、二頭曳と注文がありまして、たいてい私が引受けて居りました。

司会 乗車した中で有名な方は居りますか。

秋吉 当時の札幌鉄道管理局長や七師団長、それから馬鉄になってからは閑院宮様が中尉の時に、司会 閑院宮様というと髭をピンと生やした方ですね。

秋吉 とすると、そうではなくて東久弥宮様です。まだお若い方でしたから、私は御者をしていては、それで生計を立てていたのではなく、こづかい取りの様なもの

でしたから馬や馬車の道具、それと身仕度に金をかけていた関係で上客ばかり乗せていました。その頃の登別温泉は家が全部で十九軒より無く、郵便局も無くて中程に八子さんが座敷二部屋ばかりで旅館をしていて、その裏に斎藤次郎さんが居りました。それから上に来て私のところが八畳二間で、次が○旅館、それに簡易教育所、また今の巡査部長派出所あたりにお寺の焼跡があらただけです。

堅田 一番最初の宮様は私が九才の時に伏見宮様が見えまして。宮様は人力車に乗られて、支庁長などが先導になって来て、○旅館に泊られました。地元では街をきれいに掃除をし、国旗を立てて歓迎しました。話は変わりますがその頃温泉にはお医者さんが居なかった

ので、急病人が出ると病人を板戸に乗せ、数人で担いで幌別へ走ったものです。

司会 幌別には当時お医者さんは居たのですね。

堅田 居りました。名前はちよつと忘れましたが。

日野（鼻） ごく古くは中村文太郎という人です。それから前田さん、鈴木さん等です。

堅田 私も二度ほど病人を担いで行きました。後になって、これでは恰好が悪いというので滝本さんがカゴを買ってくれて、それからカゴを使う様になりました。そんな様子でしたが、別に亡くなった人も出ませんでした。

吉田 通信機関のお話をしたいのですが。

司会 ぜひお願いします。

吉田 先程も申上げた様に明治四十二年二月に、初めて温泉郵便局が設置されましたが、それができる前は現在の登別町全体を幌別局が配達していました。幌別郵便局は明治五年五月の開局で、初代局長は松谷金弥という方です。その次は日野愛喜さんです。

司会 例の片倉家北海道移住願末を書かれた方ですね。

吉田 そうです。それから明治十九年に日野久福さんがなられて、その後が日野謙さんです。温泉郵便局は開局当時は為替と郵便だけ、配達はしていません。

司会 無集配局ですね。

吉田 初代局長は木村官之丞さんです。

司会 その方は登別小学校の校長先生をしていた方ではないですか。

吉田 そうです。その次が広瀬さんで、私は三代目です。（つづく）

町史の資料になる古い写真や書物等をお持ちの方は役場庶務課まで御連絡下さい。

# 0年のあゆみ

## 福祉・衛生



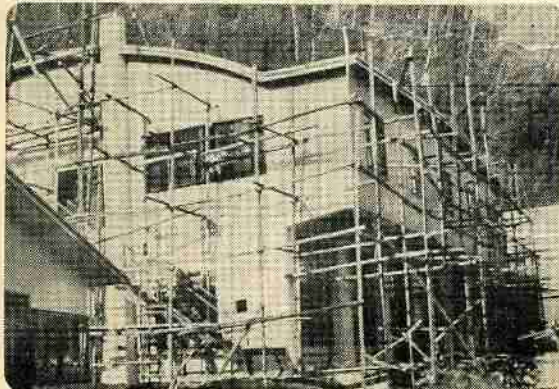
プール新設  
竣工 四十年十一月十三日  
工費 四二七万円



40年10月25日  
工費 一〇万円



モーターグレーダー  
購入 40年8月17日  
価額 540万円



登別温泉浄水場新築工事  
竣工予定 四十一年三月三十一日  
工費 三、六七九万円

人道跨線橋

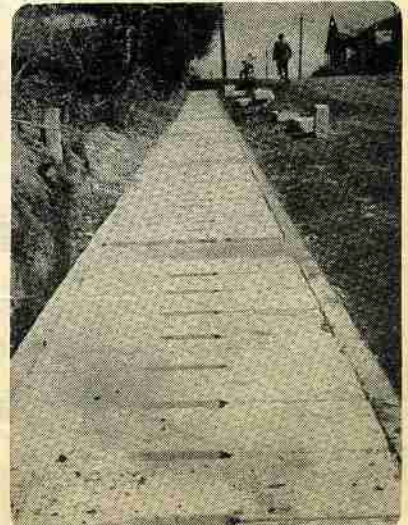
竣工 四十年七月二十日  
工費 六〇七万円



消防自動車  
購入 40年11月30日  
価額 260万円

常盤通り側溝新設工事

竣工 四十年十月十三日  
工費 一八〇万円



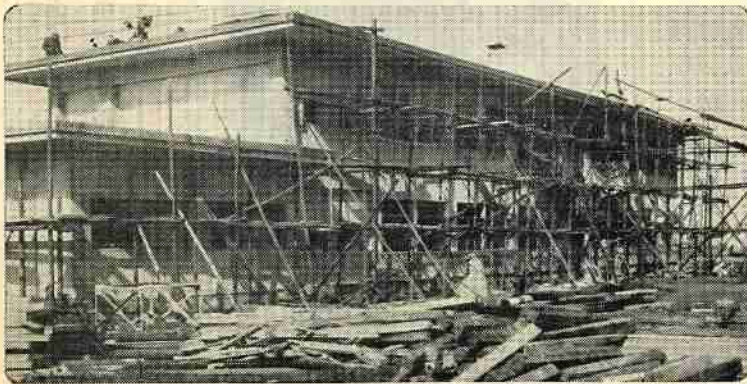
## より豊かな住みよい町へ

登別町は、みなさんの力強いご努力とご協力によって着々と計画的な発展を続けております。

今年をかえりみて、すでに完成したものや、現在急ピッチで作業が行われているおもな建設事業をお知らせします。

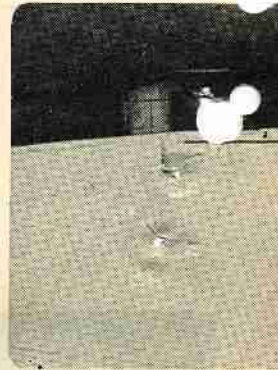
# 登別町昭和41

## 教育・土木



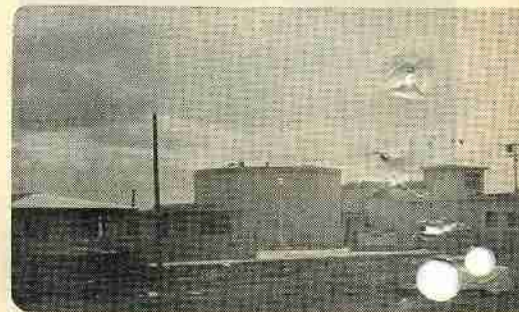
登別小学校増築工事

竣工 四十年九月三十日  
工費 一、八五二万円

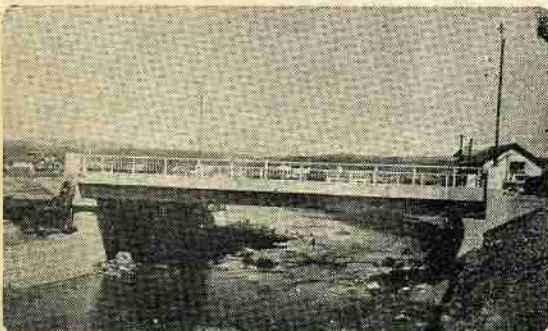


公営住宅新築工事

竣工 40年11月26日  
工費 1,246万円

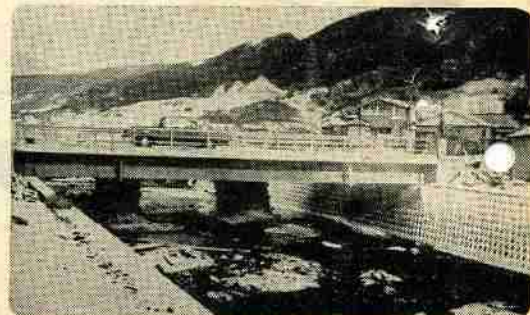


し尿処理場新築工事



相生橋

竣工 40年3月20日  
工費 2,010万円



第2上登別橋架換工事

竣工 40年10月15日  
工費 500万円

# 着実に成果を挙げる

富浦国民年金モデル地区

ります。

富浦部落は、今年九月北海道知事より国民年金モデル地区に指定されて以来、部落内を七班に分け、各推進協力員を中心に活発な業務を行ってきました。

この実績は次の表のとおりで、全道でも稀であるとの評があり、住民一同、増々意欲をもやし、なお一層成果が上るよう期待してお

	国民年金加入者数	保険料納入月数	保険料免除件数	備考
指定前	8月までの累計 134人	4~8月 34	0	その他諸届出、20才到達者の適用勸奨等実施中
指定後	9~11月 81人	9~11月 425人	法定申請 5人 25人	
実績計	215人	459人	30人	

業務推進中間報告  
(40・11・末現在)

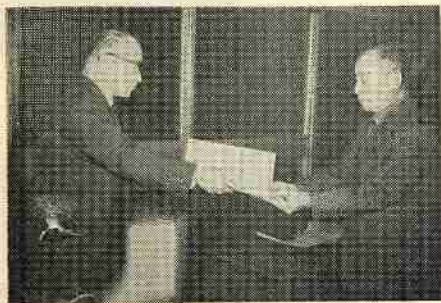


## 紺綬褒章を授与される

このたび、内閣総理大臣から次の方々に紺綬褒章が授与され、去る十一月二十四日岩倉町長より伝達されました。

この方々は、日本赤十字社に事業資金として多額のお金を寄附し今回その篤行により栄を賜ったものです。

- 大石 豊蔵氏 (鷺別)
- 遠藤 広雄氏 (〃)
- 上田 邦男氏 (晩別)
- 平塚秀次郎氏 (温泉)
- 岩原菊治郎氏 (〃)
- 若狭徳兵衛氏 (〃)



## 交通事故防止

ぜったいやめよう

### 酒酔い運転

年末、年始は、とかく酒を飲む機会が多い時期ですが、酒を飲んで車を運転するのは非常に危険なことです。

運転者自身が酒をのまないことはもちろんですが、周囲の人も車を運転する人には、お酒をすすめないようにしましょう。

お酒を飲んで車を運転していると、はじめはあまり酔っていないが、運転しているうちに酔いが

まわってきて、物を正確に見ることができず、また、動作が鈍くなつて安全な運転ができなくなり、事故を起こすことになりやす。

そのうえ、酒酔い運転による事故は、必ずといってよいくらい大きな事故を起こして、自分はおろか、場合によっては他人を道連れにする。自殺行為となりやす。次のことをじゅうぶん守つて事故を防ぎましょう。

- ・酒を飲む場所へは、絶対に車を運転して行かないようにする。どうしても、行かなければならないときは、車は置いてタクシーかバスを利用する。
- ・車を運転している人には、絶対に酒を飲ませないようにする。
- また、他人が飲ませようとしているときには、注意をして事故防止を呼びかける。

道路交通法では、からだの中に、一定量以上のアルコールが残っていれば車の運転が禁止されています。酒気をおびていて事故

### 忘れ物のお知らせ

◎婦人用折りたたみ傘 一本  
(青色)  
役員に保管してあります。

運転に  
酒はのまない  
飲ませない



を起こすと、普通の場合の二倍も重い処罰を受けることになりやす。

# 町づくり懇談会

## 活発な意見を交換



幌別地 た。

区鉄南、  
 鉄北連合  
 町内会の  
 主催で、  
 町民と町  
 理事者、  
 議会議員  
 との「町  
 づくり懇  
 談会」が  
 十二月六  
 日午後一  
 時より、  
 体育館会  
 議室で開  
 かれまし  
 る懇談会  
 が終了し  
 ました。

出席された方は町長はじめ、助  
 役、部課長、町議会議員、二十七  
 町内会の各会長さんの約五十人で  
 町長のあいさつ（より豊かな、住  
 みよい町づくりには、みなさまの  
 熱意あるご協力が必要です。今後  
 ともなお一層のご指導とご鞭撻の  
 ほどをお願いします）に引きつづ  
 き、議題にはいり、鉄南、鉄北両  
 団体から提出された共通の問題  
 十五件、単独的な問題二十三件に  
 ついて話し合いました。

この議案は、いずれも日常町民  
 が感じている重要な問題ばかりで  
 聞く方、答える方も活発な意見が  
 かわされ、午後五時三十分意義あ  
 る懇談会が終了しました。

### 優良母子家庭を表彰

町社会福祉協議会では十一月二  
 十三日、体育館で町内の優良母子  
 家庭を表彰しました。  
 表彰された方は、一家の柱とな  
 って立派に子供の養育に努められ  
 た次の方々です。

温 泉  
 伊藤 テル（家族四人）  
 荒巻 リヨ（二人）

### 新聞配達少年の 願い

十一月二十三日に、優良配達少  
 年の表彰式を行ったあと少年達と  
 関係者の座談会を催しました。  
 この時、少年達の一致した意見  
 は、

- (1) 飼犬にかまれることがあるの  
 で、必ずつないでほしい。
- (2) 新聞が風で飛んだり、雨に濡  
 れないように新聞受をつくら  
 ほしい。
- (3) 標札をつけていない家はすぐ  
 つけてほしい。

ということでした。

### 登別駅「駅史」編 さん計画

東洋一を誇る登別温泉の玄関  
 口として有名な登別駅では、こ  
 のたび「駅史」を編さんするこ  
 とになりました。

この編さんにあたり皆さんの  
 ご協力がなくてはとうてい完成  
 することが難しく、そこで資料  
 となる古い写真や書物等をお持ち  
 の方は、登別駅までご連絡下  
 さいますようお願い致します。

T 登別 四番

これらの少年達は全町で二百人  
 をこえており、たとえどんな悪天  
 候でも通学のかたわら朝から夜  
 暗くなるまで一日も欠かさず、自  
 分で働く意欲と誇りをもって働ん  
 でおられます。

各家庭の皆さんが協力して少年  
 達が配達しやすいようにしてや  
 り、配達の際は「ご苦労さん」と  
 ひと声はげましと親切な言葉をか  
 けてあげたいものです。

### 国際観光会館

安い料金でデラックスなムードを  
 お家族連れて1日中楽しめる娯楽の  
 殿堂

入館料 大人 140円  
 小人 70円  
 TEL 登別温泉 311

登別町管  
 国民宿舎

### オロフレ荘

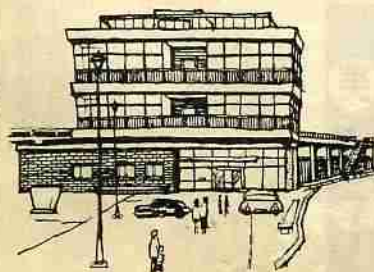
閑静で休養的な国民宿舎、みなさ  
 まのお越しをお待ちしております。

1泊  
 大人 780円 ~ 1,055円  
 TEL カルルス 11

### カルルススキー場

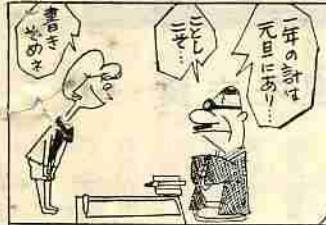
樹氷と海の見える道南随一のスキ  
 ー場 615Mのリフト完備

TEL 大人60円  
 カルルス 小人30円  
 22



# 北のさん一家

工藤恒策



## 有権者が確定

### — 昨年より1,163名増える —

昨年9月15日現在でつくった基本選挙人名簿と海区漁業調整委員会委員選挙人名簿は、12月20日確定しました。この名簿は、昭和41年12月19日までの間に行われる選挙に用いられます。名簿に登録された数は、前年より1,163人増えていますが、投票所別に前年と比較しますと次のようになります。

#### 基本選挙人名簿登録人員数調 40.12.2.確定

投票区	投票所	昭和40年12月20日確定数			昭和39年12月20日確定数			差引 増減
		男	女	計	男	女	計	
1	体育館	2,005	1,923	3,928	1,787	1,790	3,577	351
2	生活館	783	821	1,604	739	791	1,530	74
3	大谷高校	501	217	718	406	180	640	78
4	富士保育所	544	548	1,092	428	401	829	263
5	富士鉄会館	1,595	1,649	3,244	1,611	1,696	3,307	△ 63
6	曹達工場 曹達事務所	257	257	514	206	227	433	81
7	富浦保育所	197	214	411	197	201	398	13
8	登別中学校	1,011	1,015	2,026	1,045	867	1,912	114
9	観光会館	1,451	961	2,412	1,070	1,593	2,663	△ 251
10	カルルス小学校	53	64	117	57	71	128	△ 11
11	札内小学校	63	52	115	61	51	112	3
12	紘山小学校	35	37	72	41	43	84	△ 12
13	富岸小学校	69	59	128	55	47	102	26
14	上鶴別共同浴場	638	619	1,257	499	505	1,004	253
15	鷺別中学校	1,871	1,812	3,683	1,709	1,730	3,439	244
	計	11,073	10,248	21,321	9,965	10,193	20,158	1,163

#### 胆振海区漁業調整委員会委員選挙人名簿登録人員数調

投票区	投票所	昭和40年12月20日確定数			昭和39年12月20日確定数			差引 増減
		男	女	計	男	女	計	
1	富浦保育所	105	94	199	106	89	195	4
2	生活館	20	14	34	18	16	34	—
3	鷺別公民館	35	32	67	37	30	67	—
	計	160	140	300	161	135	296	4

## 職業訓練所 訓練生募集

○応募資格  
中学校卒業程度の学力  
者年令に制限ありません

○応募期間

昭和四十年十二月一日～昭和四十二年二月末日

- ① 入所願
- ② 身体検査書
- ③ 入所希望内申書(学校卒業又は中退後、五年以上経過の方は不要)
- その他  
右書類の用紙、その他詳しいことは、公共職業安定所(苫小牧市旭町十の四電話五三二一番)にお問い合わせ下さい。

## 美 挙

- 小野 富蔵(元、登別温泉住民) 一〇,〇〇〇円
- 豊田 富男(字幌別一五二番地) 五,〇〇〇円
- コーヒーパー・ルイ 七八三円
- 菅原 達雄(字幌別二四五番地) 五,〇〇〇円
- 丸山 武雄(字千才二三三の八番地) 一、九八二円
- やきとり屋一平 五,〇〇〇円
- 登別町寅年同志会(会長直木通) 一〇,〇〇〇円
- 幌別聖神カトリック教会 一〇,〇〇〇円

町	男	女	計
世帯数			
町	一九、八三二	一九、五二八	三九、三四五
計	九、八八〇	九、八八〇	一九、八八〇

(十一月末現在)